

水戸城の主郭

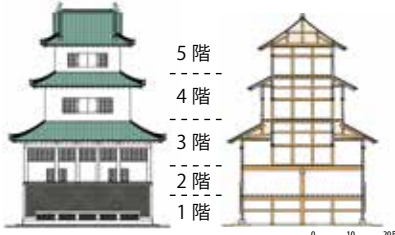
©茨城大学名誉教授 小野寺淳

御三家・水戸徳川家の居城、
水戸城を紹介するでござる！

水戸の城さんぽ

問合せ／歴史文化財課(☎306・8132)

其の二



◀三階櫓立面図(左)・内部構造図(右)
総高19.7m、3層5階。戦前まで全国現存20
天守の一つでしたが、昭和20年の水戸空襲で
焼失しました。

作図：松島悠(水戸市立博物館『水戸城遙かなり』より)

水戸城

土づくりの平山城、
国内最大級

水戸城は、標高約30mの細長い台地の先端を利用
して築かれた、土づくりの平山城です。築城は
平安時代末期〜鎌倉時代初め頃で、県内でも最古
級の歴史を有しています。中世は、馬場氏↓江戸
氏↓佐竹氏と城主が交代し、江戸時代には、「下
の丸」、「本丸」、「二の丸」、「三の丸」という、4
つの曲輪(区画)が東西に並び、御三家・水戸徳川
家の居城として栄えました。

一方、同じ御三家の居城である名古屋城や和歌
山城と比べて「貧弱だ」、「小さい」といった声をよく
聞きます。そこで今回は、水戸城のキラリと光
るところを2点、紹介しましょう。

1点目は、城内の広さです。水戸城の主郭(中
心部)の総面積は、約55・7ヘクタール。和歌山
城の主郭が約21ヘクタールですから、約2.6倍の広
さです。県内の城では最も広大で、土づくりの平山
城としては国内最大級の大きさでした。

さらに注目すべきは、その全長です。水戸城の
全長は東西約1380m。全長を測定しにくい山
城を除くと、1位の大坂城(約2700m)、2位
の江戸城(約2250m)、3位の名古屋城(約1
440m)に次ぐ第4位になります。1.3kmも続く
水戸城の長い城壁や櫓は、城下町から見上げると、
さぞ壮観だったことでしょう。



2点目は、三階櫓の構造です。「水戸城には天
守がなかった」とよく言われますが、その理由は、
幕府への届出を「天守」ではなく「櫓」としていたた
めで、三階櫓は事実上の天守でした。

その三階櫓は、内部構造が非常に奇抜だったこ
とで知られています。外側はシンプルに3階建て
に見えて、実はその内部は5階建て。1階部分は
まさかの土間で、櫓内に土足で入る形になります。
2階で下足し、そこに現われるのは、畳72枚分の
大広間。しかも、柱は中央に1本だけという見晴
らしの良さです。上部にまだ3階分ありますが
、柱1本でどうやって重さを支えたのか不思議
に思いませんか。このような変則的な構造の天守
は、水戸城しかありません。外観は控えめですが、
内観は見所たっぷり。空襲で焼失してしまいまし
たが、まさに、オンリーワンの天守だったのです。
さらに水戸城には、巨大な堀と土塁など、中世
以来の伝統的な、土づくりの迫力ある遺構が現存
しているのも特徴です。現在は、大手門・二の丸
角櫓といった城郭建築が復元され、見学ルート(水
戸学の道)も整備されました。ライトアップされ
た夜景も素敵です。ぜひ、城内をゆっくり散歩し
て、独特の魅力を堪能してみてください。

歴史文化財課 関口慶久

【発行】水戸市 ☎029・224・1111(代表)
〒310-8610 水戸市中央1-4-1
ホームページ / <https://www.city.maibashi.lg.jp/>

【編集】みとの魅力発信課 ☎029・232・9107
☎029・224・5188 kouhou@city.maibashi.lg.jp